



中倉には建設に際して使われた用具を展示している



建設にあたって製作された鬼瓦



南倉では神門神社の師走祭りを紹介している

#### DATA・BOARD 39

- ①宮崎県東臼杵郡南郷村大字神門287
- ②面積：308㎡
- ③JR日豊本線日向駅から車で約50分
- ④百済小路、百済の館、恋人の丘、鬼神野溶岩溪谷キャンプ村ほか



## 39 西の正倉院



南郷村には、朝鮮半島の古代国家である百済から日本に逃れた王族が移り住んだという伝説がある。村内の神門神社にはこの伝説の証とされる銅鏡や馬鐸が残され、王族親子対面の祭り(師走まつり)が行われ、王族の墓ともいわれる古墳も存在する。中でもこの銅鏡は、王族の遺品といわれる伝世品で、奈良正倉院の宝物と同一品であることが判明している。

こうした郷土の歴史や文化を村づくりに反映させていくために、百済の里づくりが展開されており、「西の正倉院」はその中心施設となる展示博物館としてつくられたものである。

建築にあたっては、奈良正倉院を原寸大で複製するとともに、門や塀も含めて天平様式の建築物とした。また、素材には桧材を使用し、瓦紋様なども完全復刻されている。

館内は、南倉に地域ゆかりの師走まつりを紹介するための影絵が展示されているほか、中倉では正倉院の構造を紹介、北倉には神門神社の宝物を展示している。

御木曳式、手斧式、立柱式、上棟式などの建築の節目の行事には多くの村民も参加し、郷土の誇りと文化を伝える施設となっている。